

# 可部カラスの会

第 41 号 2001.6.15

## 面白いネ高松山

可部カラスの会恒例の『大文字祭のイベント』で、歴史部会が一年がかりでまとめた“高松山の謎”と題するフォーラムを5月25日、可部学区集会所で開催しました。

今までのイベントは写真などを中心にしていましたが、今回は参加者とともに高松山を考えるという企画です。この日のた



満員の盛況に緊張気味の友近さん

めに準備した手作りの“高松山の模型”や可部と京都の類似点が一目でわかる“縮尺地図”など、参加者にわかりやすいツールをステージに配置しました。

1回目のフォーラム開始は午前9時、“参加される皆さん興味あるだろうか”との不安は、用意した椅子がまたたく間に埋まって、皆さんの期待が大きいものを実感する喜びにかわりました。

口火役の友近さんはこのように語りかけます。「きっかけは小学校の宿題でした。ノートに書き写した可部と京都の類似点が心の片隅に引っかかり、小さな胸をいためつつの半世紀、可部カラスの会で相談

## 盛況だったフォーラム

すると、“そりゃあ面白げなねえ、調べてみようやあ”で方針は決まりました。」さらに「古い書籍を調べたり、可部と京都の地図を同じ大きさにしてみる



飄々として語りで笑いを誘う梶川さん

と15の類似点がたちどころに見えてきました。嬉しくて……。」

「仮想登山をやりましょう」と語りかける梶川さん、数え切れないほど登頂

の実績に基づいて淡々と語る口調は随所で大きな笑いを誘い、“高松山へ登ってみたい”衝動に駆られた人も多かったように推察できます。

最後に田中さんが可部の町と高松山の深い関わりについてまとめてフォーラムは終了。用意した冊子“高松山”もたちまち売り切れになる盛況でした。

午後のフォーラムも同様の賑わいで、町の人たちの高松山に対する思い入れの大きさを実感させられました。私たちのイベントの記事を掲載してくれた中国新聞、そしてマスコミの力をしみじみ感じた一日でした。

### 定例会じゃあ こがいな話をしたんよ

五月二三日(水)

高松山フォーラムについて

町内ポスター展示 和田木・新澤さん

二五日の準備

午後一時 公民館からパネルを移送

集会所でパネルの配置と写真の貼り付け

高松山の模型配置

二六日 午前八時学区集会所に集合

趣意書は田中さんと新澤(慶)さん

高松山登頂チラシ 田中さん

スポットライトの用意 友広さん

BGMの用意 和田木さん

フォーラムのリハーサル

中国新聞の取材もあって、緊張気味の雰囲気

で実施。

水援隊の太田川探索

六月九日 参加者募集

六月一三日(水)

高松山フォーラムと登頂結果の反省

フォーラムは予想以上の盛況

「高松山」も完売、問い合わせ多く、増刷

高松山登頂参加者八〇名以上、鹿もたま

げるほどの参加数だったが無事終了

中国新聞と地元猟友会の皆さんに感謝

千六百年代の可部の町並み地図

地元の有志から提供を受けた地図で往時

の繁盛振りを推測しよう

チンチロビツツ(明神祭)

地元の人と酒を酌み交わしながら、可部

の活性化を語ろう

# 地元の皆さんのご好意に多謝、多謝

「可部カラスの会」が産声を上げて5年目に入りましたが、イベントをやるたびに地元の皆さんからいろんな形で“励ましの力”をもらっており、むしろ暖かい声援で育てられたといってもよいくらいです。特に最近はその動きが見えるようになりました。そこで具体的な例で紹介してみます。

## わしらと一緒に町並を再現してみようやあ

「古い世代の者が元気な間に、昭和初期の可部を地図で再現して見んか。」と旧五丁目の人



思い出を語りつつ賑やかに

たちから声をかけられたのは、今年の寒さが厳しくなる頃のことでした。

相談の結果、町並

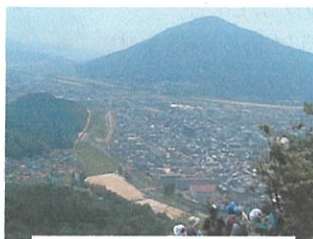
みの賑やかさを再現することで、町の活性化に繋がれば……という願いから上市～五丁目までを数ブロックに分けて該当する地域の古老と一緒に家屋の並びを図で復元することに決まりました。取り組みをはじめたのは今年に入ってからですが、残った三丁目の調査が終ったのは5月の終わりでした。今後は一枚の用紙に纏める作業に移る予定です。

## わしらの話も残してちょうだい

もう一つは、「昔の可部の町のことをメモしているから、何とか伝え残しておきたい。話をする場所をつくってほしい。」と平尾悟さんの他多くの皆さんのご希望です。できるだけ多くの情報を正確に記録し、地元の人たちのお役に立ちたい。そう思って今から取り組みをはじめたいと思います。

## 猟は中止するけえ みんなで登りんさい

6月10日(日)高松山の登頂を企画したときのことです。下町屋バス停で参加者のチェックをしていたら、土居屋敷付近の方がこられて「今日は土居屋敷付近の柵を開けます。シカが通るので閉鎖しとるんですが、皆さんの都合を考慮します。」申し訳ありません。当日はシカ追いの猟を予定されていたようですが、新聞を見て急遽私たちのイベントを優先して貰



高松山から可部を望む

っていたんです。ありがとう三入猟友会のみなさん。お陰さまで総勢80人の参加者は楽しい1日の思い出を作ることができました。

### カラスのスケジュール

カラスの定例会

6月 13日(水) 27日(水)

7月 11日(水) 25日(水)

カラスのイベント等

8月4日(土)

チンチロビツ(明神社の祭典)

賑やかな場所で活動の報告を兼ねて静かに酒を酌み交わそう

9月 x x 日

クリーン根の谷川

下町屋町内会連合会と歩調を合わせて実行

カラスも

学校のお手伝い

広島市では今年度から『学校協力者会議』を制定して、地域の皆さんと協力して「まわぐるみ」で子どもたちを育成する方法を考えることになりました。「可部カラスの会」のメンバーのなかで  
可部小学校から新澤さん  
亀山中学校から和田木さん  
に白羽の矢が立てられてお手伝いすることになったんです。  
地域の皆さんとともに子どもたちと仲良くなつて、一緒に学びながら開かれた学校を目指して楽しくやってほしいですね。

# 可部カラスの会

第42号 2001.7.15

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3

Tel(Fax)814-0162(寺本)

[kabekarasu@ma8.seikyone.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyone.jp)(田中)

<http://ha8.seikyone.jp/home/kabekarasu/>

## チンチロビッツじゃあ 酒を酌んで 祭を語ろう

8月4日(土)は明神さんの祭りです。可部では古くから“チンチロビッツ”といったほうがお馴染みの祭りです。チンチロビッツとは、三味や鐘の音で賑やかな祭を表現したようです。

明神さんのご神体は「市杵島姫命イチキシマヒメノミコト」で、実は厳島神社のご神体と

いっしょなんです。ですから以前は宮島の管弦祭と同じ日に行われていたんです。チンチロビッツと管弦祭、お祭の名前までイメージぴったりですね。

可部カラスは町に少しでも元気が出るようにと、昨年は樋野村さんちの前庭でささやかにやりました



昨年は樋野村さんちでささやかに

が、今年は市民権をいただいて笹木医院の広場で静かにやりたいと思っています。

さて、その内容はというと、にぎやかだった昔のように元気を取り戻す方法として『祭を考えてみよう』と思うわけです。あんまりしかめっ面をせず、ビールでも飲みながら“祭”についてじっくり話ができれば……と考えています。

そして“可部線対策協議会”も参加してくれることになりました。可部線の存続の願いを達成するため日夜頑張っている皆さんが大挙して可部の町にやってきて、祭を楽しんでもらえるような企画を望んでいます。

さらに南アフリカの子供たちも可部の祭を見て、自分たちの歌を披露してくれる予定があります。

テーマは《町の人が共感を持てること》を第一に考えてみたいと思います。よいお祭になりますように……。

## 人気上々の「高松山」200部を増刷

大文字祭の日に100部を完売した冊子「高松山」はその後もどんと注文がきています。そこで、先日の定例会において歴史部会が中心になって第二版200部を作ることに決まり、部会において一部分を修正して印刷にかかりました。7月中旬には第二版も出来上がる予定です。

1冊300円 郵送の場合は480円(80円切手を6枚)

### 定例会じゃあ こがいな話をしたんよ

六月二十七日(水)

「高松山」の増刷

人気は上々、各地から問い合わせ殺到

二〇〇部をできる限り早急に増刷

チンチロビッツ(明神社祭礼)

八月四日(土) 笹木医院の広場で開催

タイトルは「祭を考える」

カガリ火の台は友鉄で作成

パネル一〇枚は公民館で借用のこと

カラス 六枚 可部線 四枚

七月一日(水)

チンチロビッツ

可部線対策協とジョイント

テーマ 祭を語ろう

カラスの活動紹介をパネルで

ミニガイドブックとビールを用意

クリーン根の谷川

九月二三日(日)

可部学区公衛協と共催

公民館祭り

一月四(日)〜五日(月)

詳細は別途

内子町の様子を探る

先進地探訪の対象として

アクセスと経費の検討を要す。

## “よがんす祭”にも出ま〜す

お祭大好き人間の集団？可部カラスですから、今年の8月25日（土）に“山陽コココーラ広場”で12時から開催される“よがんす祭り”にも参加します。

出し物をご存知、大文字祭りで話題の「高松山」の模型を据えて、可部が大好きな人たちと「可部と高松山の位置付け」を語り合いたいと思っています。

本物の高松山を背にして、みんなであぐらをかいてでもじっくりしゃべってみませんか。

## 今年も 可部小学校で ウオークラリーやりましょう

可部小学校6年生は今年も“歴史ウオークラリー”をやる予定です。

先日の定例会に6年生の保護者が大勢で来られて「昨年と同様、ウオークラリーやりたい」との希望が出されましたので、保護者とサポート側の反省も交えて意見の交換を行いました。

実施は12月1日（土）です。学校との意識あわせも充分行って、万全の体制でやりましょう。



品窮寺で... 去年は暑かったねえ

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

7月 11日（水） 25日（水）

8月 8日（水） 22日（水）

#### カラスのイベント等

8月4日（土）15:00～ 笹木医院の広場  
チンチロビッツ（明神祭）

静かに酒を酌み交わしながら『祭を考える』

8月25日（土）12:00～コココーラ広場

よがんす祭 12:00～

高松山を考える-冊子と模型

## 中屋に珍しい写真

町内会結成50周年記念の冊子を発行準備中の中屋町内会で、珍しい“漁業”の写真が見つかりました。話を聞いてみるとどうやら“鵜縄漁(ウナワリヨウ)”。縄につけた草を鵜に見せかけてアユを追い、投網で捕獲する漁法です。子どもの頃に根の谷川で真似をしてハヤを追った経験はありますか？。カラスで他の写真と共に記録保存させてもらいたい写真のひとつです。

## カラス提供の写真 各地で活躍

可部の皆さんから提供してもらった「懐かしい可部の写真」が各地で活躍しています。

昨年の秋から暮れにかけて、可部線連続運動や“太田川水べのサロン”“2001 カウントダウン”さらには可部線難関突破集会などで活躍。

今度は中屋町内会結成50周年の記念誌にも一部が掲載され、各地に配られる予定とか。

中川醤油さん提供の大田川橋とバスの写真が広島県バス協会のカレンダーにも載る予定だそうです。

## うれしい話 2題

### 軽便鉄道が『思いっきりテレビ』に

日本テレビの『午後は〇〇おもいっきりテレビ』といえば昼のテレビ番組中、お茶の間の人気をさらう番組ですが、7月27日「今日は何の日」で、「本郷線(現可部線)が開通した日」が放映されることになりました。

可部線が開通するまでの経緯、現状、沿線の見どころなどを紹介する中で、可部線の前身、軽便鉄道の列車が走るシーンが写しだされるようです。カラスも大きな目をあけて、見逃さないように……。

### ええもの貰うたんよ

可部カラスに思わぬ贈り物です。名前は“「小さな親切」実行章”、贈り主は「(財団法人) 小さな親切事務局」で、カラスの小・中学校への出前授業が評価の対象になったんだそうです。うれしいことに佐伯町に在住の方が推薦してくださったようです。

いろんなところでカラスの活動を温かい目で見ていただいている人があるんですね。

# 可部カラスの会

第43号 2001.8.15

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3

Tel(Fax)814-0162(寺本)

[kabekarasu@ma8.seikyoku.ne.jp](mailto:kabekarasu@ma8.seikyoku.ne.jp)(田中)

<http://ha8.seikyoku.ne.jp/home/kabekarasu/>

## 今年は 国際ボランティア年のシンポジウム まちづくり横丁に換えて

今年は《ボランティア国際年》です。そこで国と広島県が主催する記念行事が、10月27日広島市国際会議場で「ボランティア国際年記念シンポジウムINひろしま」と銘打って開かれることになりました。(28日には福山市でも開催される予定です)

いつもならこの時期ボラセンを中心にした「まちづくり横丁」で賑やかにやってきましたが、このシンポジウムに「可部カラスの会」も出演してほしい旨の要請を受けてシンポジウムに参加することを決めたんです。

当日のプログラムは開会のセレモニーに続いて、俳優の藤岡弘さんが「私とボランティア活動」と題する基調講演を行います。次いで午後からは4つのセッション「自然環境を考える」、「子どもとともに」、「福祉を考える」、「まちづくりを考える」に分かれて参加者の意見を求めます。どのセッションも専門のベテランがコーディネーターを勤める予定です。もちろんカラスの出番は4つ目のセッションです。友広代表がパネリストになってカラスの活動を発表する予定です。

またこの大会の運営推進に参加協力するボランティアを募集しています。積極的な参加協力をお願いします。

### この秋も忙しゅうなりそうな予感

チンチロビッツで街の人たちと賑やかにビールを酌み交わした余韻も醒めやらぬうちに、カラスは今年も忙しい秋を迎えそうな予感がしますので大まかな内容を紹介しておきます。ご協力を……

出前授業 9月6日(木) 三入小学校、12月1日(土) 可部小学校 11月初旬 可部中学校

シンポ等 10月27日(土) ボランティア国際年記念シンポ、女性教育センター自主企画プログラム参加

講演要請 山口県玖珂郡美和町ボランティアセンターから「カラスの活動」を中心とした講演の要請

### 定例会じゃあ こがいな話をしたんよ

七月二五日(水)

三入小学校出前授業(九月六日)

寺本、新澤が担当する

クリーン根の谷川(九月二三日)

可部学区公衛協と共催実施

チラシの案は岩田さんに依頼する

九月一〇日までに五千枚を配布

チンチロビッツ(八月四日)

パネル搬送、当日一三時公民館集合

写真は新沢さんが選択

高松山の模型は友広さん

雨天に備えテントは和田さん

南アフリカの子ども一九時可部駅着

飲み物等の準備

横川商店街から五〜六名の視察あり

乗合バスの話、カラスの活動状況

八月八日(水)

チンチロビッツ

いろんな人との交流があつてよかった

街の人たちの意見も好評

昭和初期の地図作成

協力者にお礼の気持ちで一枚ずつ配布

利用方法については今後の検討課題

よがんす祭(八月二五日)

「高松山」を語ろう

パネル六枚公民館で借用

出前授業

三入小学校 九月六日「川を考える」

可部中学校 時期十月〜十一月

クリーン根の谷川

チラシ五千枚 テント二張準備

# 評判よかったチンチロビッツ

「あれが本物の交流じゃろうねえ。」「異国の文化も紹介してくれて、やっぱりカラスは面白いことやってくれるねえ。」町の人たちの声はさまざまですが、みんな「カラスの交流広場」を評価して下さる声です。

8月4日、チンチロビッツの主催者が提供してくれた今年の場所は明神社に近い笹木医院の駐車場、午後1時からの会場設営はなんとも暑い日差しの中で始まりました。

公民館で借りたパネルはカラスが6枚、可部線対策協議会が4枚。ということは同じ広場を共同で使用する仕組みです。

そしてこの日は横川商店街振興組合から交流部隊の訪問と、南アフリカ共和国の子どもたち「レインボーキッズ（以下キッズと略します）」の皆さんが日本の祭を見に来る予定ですから設営にも力が入ります。



早速カラスと意見交換、横川の皆さん

交流広場の会場設営が終わった頃、元気の良い“子ども神輿”が無い込んで来てくれました。カラスの交流広場を一周して神輿行列も終了した模様です。

## 会場に広がる交流の輪

午後4時、横川商店街連合会と横川商店街振興組合6名の到着です。横川の皆さんとの出会いは平成11年2月西区主催「コミュニケーション交流会」でした。その後よがんす祭の視察やら「横川～可部を走った日本最初のバス」を通じて、メールを通じて常に交流を図っている

皆さんです。早速打ち解けてあちらこちらに交流の輪が繰り返されられました。

## 浴衣でゴスペルと踊りを披露 南アフリカの子どもたち

次いで南アフリカ共和国のグループですが、可部カラスが企画したものではありません。この背景には安佐町の「からっぽ」宇野淳子さんによる南アフリカでの染色指導とか、ピアニストの河野康弘さんの中古ピアノを贈る活動が機縁になって、8月5～6日の元安川畔で開かれる“ピースコンサート”に参加するのが主な目的でした。

たまたま日本の夏祭りを見学したい希望もあり、浴衣がけで可部線に乗り、カラスの交流広場で歌を披露する運びとなったわけです。

キッズの歌が始まると多くの祭の見物客が足を止め、彼らの歌に聞き入り、手拍子で参加してくれました。



キッズはすばらしい歌と踊りを披露

その後キッズは初期の目的を果たし、亀山児童館での交流や、ザ・ビッグで友達へのお土産も買って楽しい思い出とともに8月7日帰国の途につきました。有難うキッズと関係者のみなさん。

チンチロビッツでは余りにも忙しくて冊子の「高松山」を買ってもらう余裕がありませんでした。よがんす祭には模型を展示します。冊子も買ってください。八月二五日（土）にはいつものところ（コココーラの広場）で待っています。ゆっくり時間をかけて、高松山を語りましょう。

よがんす祭は  
「高松山」で

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

8月 8日（水） 22日（水）

9月 12日（水） 26日（水）

#### カラスのイベント等

8月 25日（土）12時～21時 12回よがんす祭  
コココーラ広島工場駐車場

9月 6日（木）10時半～12時半  
三入小学校出前授業（5年生）  
テーマ 川を考える

出演 井手本、新澤、寺本

9月 23日（日）8時～10時 クリーン根の谷川

10月 27日（土）10時～17時 広島国際会議場  
ボランティア国際年記念シンポジウム

# 可部カラスの会

第44号 2001.9.15

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3

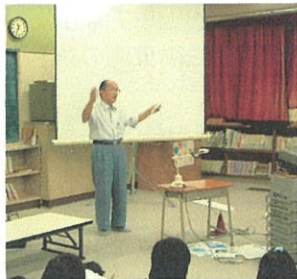
Tel(Fax)814-0162(寺本)

teramoto@po.cisnet.or.jp (寺本)

http://ha8.seikyoku.ne.jp/home/kabekarasu/

## 川のこついろいろ勉強できたあ 三入小5年生

9月6日(木)全身びしょぬれで作業をする人が振り向いてご挨拶。カラスの寺本さんでした。生徒のために川に入って教材の“水生生物”を採集しました。



熱弁をふるう井手本とさん

新澤さんは前日、学校付近の「根の谷川の様子」をビデオに収録しましたが、二人の事前準備が効果を発揮しました。

今回の“出前授業”は三入小学校5年生で「根の谷川の学習」です。

皮切りは子ども時代のほとんどを川で過ごした新澤さん、生活の一部として、ウナギの捕り方ハヤのつり方など、今の子ども

に経験のないことを語りました。

地元の井手本さんは根の谷川や南原川の歴史と水質のすばらしさを説明のうえ、学校のすぐ傍に川がある三入小はしあわせな学校であると話しました。

最後は寺本さん、ビデオの『水質調査の仕方』に基づいて説明し、採取した水生生物の種類や、「川の水に醤油を少し落とすとどうなるか」など身近な例をあげての説明にこどもたちもナツク顔でした。

新澤さんのビデオは根の谷川で魚つりをする子どもが足を滑らせ、すばやく這い上がるシーンに、子どもも大人も大爆笑でした。

授業が終わって控え室で「寺本さん、あんたあ役者じゃのお」の声に寺本さんもニンマリ。雨にすっかり濡れたカラスも大満足で学校を後にしました。

## カラスのおじきんありがとう 三入小からお礼の手紙

早速三入小学校の子どもたちからお礼の手紙が届きました。それぞれの講師の話をしっかり聞いて、驚きをもって受け入れてくれたことを強く感じます。そしてそれぞれがテーマを持って、二学期は身近な根の谷川の自然を学ぼうとするつよい意気込みを感じることができました。

新澤さんの話した「昔は生活の一部として魚を取っていたこと、夜釣りの餌には“ホタル”が最高」のくだりにインパクトを感じ、井手本さんの話で「曲がり少なく、水がきれいな根の谷川」に感心した子、寺本さんの「生活廃水が川の水を汚す」ことをみんな自覚し、「水生生物も水質ももっと調べたい」と記した子どもが大勢見られました。水質調査の予備軍が沢山できてよかった、よかった。

### 定例会じゃあ こがいな話をしたんよ

八月二日(水)

よがんす祭 八月二五日(土) 午前十時

コカコーラ広場で出店準備開始

水援隊一斉調査(九月八日) 参加者

区役所前からバスで出発

ボランティア国際年記念シンポへの参加

事務局長案で了解 十月二七日(土)

出前授業

可部中 生徒のインタビュー受け入れ

三入小 根の谷川学習(九月六日)

井手本、新澤、寺本出演

女性教育センターパートナシップ事業

一月二九日または三〇日午後実施

クリーン根の谷川 九月二三日(日) 実施

ポスターを町内に掲示予定

八月二日(水)

新しい顔ぶれに熱のこもった雰囲気：生涯学習センターで可部カラス活動展示会

九月二六日～十月一三日

会報片面ずつラミネートの準備

九月二五日 展示の準備は四名で実施

山口県美和町ボランティアセンターへ講師

九月二七日午後一時半

可部公民館祭

一月三～四日 福祉センター六階

クリーン根の谷川の最終確認

九月二三日(日) 午前七時半集合のこと

ジュース類・一日保険も準備のこと

根の谷川水質調査と芋煮会

一月一日(日) 予定

# 大賑わいカラスのお店

## よがんす祭で

8月25日(土)台風もたいしたことはなく、今日は「可部よがんす祭」の日です。午前10時可部公民館に集まったメンバーの作業はパネルの運搬からです。6枚のパネルを手際よくトラックに積み込んで会場へ。

今年は祭の開催時刻が早いんですが、どんな条件でも対応できるのがカラスの特徴。パネルを立てて「高松山の模型」を並べてお店は出来上がりました。

今回カラスが提供できる情報は①歴史部会のヒット作品「高松山のガイドブック」と②「カラスの仕業第1集・第2集」です。他のお店は特売、廉売ですが、わがカラスはあせらず、騒がず、じっくりお話のできるお客さんの来場を待っています。



やがて日が暮れてカラ

スがねぐらに帰る頃となると、ぼつぼつカラスのお店を覗く人が増えてきます。高松山の模型をじっくり見つめる人、登山道をカラスのメンバーに確認する人、子どもたちも高松山の模型をものめずらしそうに覗いて行きます。そしてカラスの情報を買ってくださる人が出始めました。

「カラスの人は質問してもキチンと答えてくれる。すごい人ばかりじゃのお」、「カラスの活動には頭が下がります。何はともあれ情報を買わせてもらいます。」こんな言葉をいただきましたが、その中で私たちを奮

い立たせてくれた言葉は「地域の行事に、カラスの会も一緒じゃ言うたら、みんなが協力してくれるようになったんよ。」でした。ほんとに今日のビールはうまかった。地元の皆さんの力強い応援を実感しながらお祭もフィナーレとなりました。

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

9月 12日(水) 26日(水)  
10月 10日(水) 24日(水)

#### カラスのイベント等

9月23日(日) 8:00~10:00

クリーン根の谷川(可部学区公衛協と共催)

本部 可部高校グラウンド南側

支部 寺山橋東側付近

9月27日(木) 13:30~

山口県玖珂郡美和町「ボランティアセンター」

「ボランティア言うたらどねえにするんね」

10月4日(木) 13:00~17:00 生涯学習センター

文化学習情報提供機関NW全国大会

10月16日(火) 午後

可部中出前授業 新澤宅で質問に答える

10月27日(土) 10:00~17:10 広島国際会議場

ボランティア国際年記念シンポジウム

第4分科会にカラス出演

## 今年もやるぞ クリーン根の谷川

9月23日(日)はカラス恒例の「クリーン根の谷川」の日です。今回も可部学区公衛協と共同で作業をやることになりました。午前8時~10時まで南原川合流点から上原橋まで、町の人たちと一緒に賑やかにやりましょう

本部は可部高校グラウンド南、上原橋付近に支部を設定します。ゴミ収集用の袋、手袋、手ぬぐいなど一応用意してあります。また終了してジュース類を提供する予定です。ゴミの集積場所は高松橋東側の袂とします。

なお当日は下町屋町内会の皆さんも根の谷川の清掃をされる予定です。

## なんジョ?何じゃそりゃあ

カラスが「なんジョ」に出たんです。

9月11日(火)午後1時から基町クレド6階RCCサテライトスタジオへ飛んでいった4羽のカラス(上森、新澤、山口、和田木)がラジオの人気番組「何でもジョッキー」にまで出演してしまいました。

司会の煙石・桑原さんの誘導で「カア〜」の挨拶から始まった番組「可部カラスのネーミングの由来」から環境活動の「クリーン根の谷川」「水質調査」、文化活動では「写真展、映写会」「高松山のガイドブック」などの活躍振りをしゃべり、続いて「寺山公園」「出前授業」もご披露しました。

最後に「まちづくりへのアドバイス」として「町を知ること」「町を好きになること」を提起しておしまいです。

やっぱりプロじゃねえ煙ちゃんも麻美ちゃんも。うまい具合にまとめてくれちゃったんよ。



# 可部カラスの会

第45号 2001.10.15

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3  
Tel(Fax)814-0162(寺本)  
teramoto@po.cisnet.or.jp (寺本)  
<http://ha8.seikyounet.or.jp/home/kabekarasu/>

## 写真展示と寸劇で ボランティア国際年シンポ

会報43号(9月15日)でお知らせしたとおり、ボランティア国際年のシンポジウムが全国の9箇所で開催されますが、広島県では広島市と福山市で開催されます。関係諸団体と会合を重ねた結果内容が明らかになってきました。

10月27日(土)広島市国際会議場で午前10時から、俳優で民間ボランティアとして活躍している藤岡弘さんの基調報告で幕あけです。もちろんカラスも参加して午後1時からのセッション2(まちづくりを考える)に出演、寸劇とビデオでまちづくりの楽しさを披露し、われらが代表友廣さんもパネリス

トとして参加します。そして各グループの展示コーナーもあります。

今回のイベントは例年の「まちづくり横丁」とは違って、NPO(営利を目的としない団体)グループの企画なので情報の売買はありません。広島で地道な活動を続けているボランティアグループの紹介です。すから味わいのあるイベントになるでしょう。

なお、それぞれの会場は次のとおりです。

- 《基調報告》 地下2階ダリア
- 《セッション》 地下2階コスモス
- 《展示》 地下1階会議室

## 綺麗になったかな?

## 根の谷川の水質

早いもんですね、もう5回目を迎える“根の谷川の水質調査と芋煮会”を11月11日(日)に実施する事になりました。昨年は可部中学校、三入小学校からも子どもたちが参加して大いに賑わいました。

三入小学校では今年の上学期に「根の谷川の自然を学ぼう」をテーマとして、根の谷川について積極的な取り組みをします。先日行った“出前授業”の感想文からも子どもたちの意気込みが伺えます。

また可部中学校の1年生とカラスが話し合う時間ができました。ぜひ参加を呼びかけたいと考えています。皆さんもこのイベントに参加して見ませんか。



昨年参加した三入小のお友達

### 定例会じゃあ こがいな話をしたんよ

九月二六日(水)

ビジュアル技術の後継者募集

新澤さんの負担を軽減しよう。希望者募集

山口県美和町「まちづくり講演会」九月二七日

田中、樋野村、三木、和田木で参加

生涯学習フォーラム 一〇月四日

パネリスト新澤、応援は田中、和田木

可部中出前授業 一〇月一六日(火)

新澤さん宅でインタビューに応じる

ボランティア国際年シンポジウム

一〇月二七日(土) 国際会議場で実施

カラスは「寸劇」で参加 シナリオは別途

可部公民館祭 一〇月三〇日

カラスは福祉センター六階大会議室を利用

根の谷川水質調査と芋煮会

十一月一日(日) 実施

可部小歴史ウォークラリー 一二月一日

具体的内容は新澤さんへ校長から連絡

一〇月一〇日(水)

イベント実施報告

山口県美和町、NWフォーラム等を報告

ボランティア国際年イベント

一〇月二七日(日) 国際会議場

第二セッションで「カラスの寸劇」実施

可部公民館祭 十一月三〜四日

「高松山」と写真 プロジェクター用意

根の谷川水質調査と芋煮会 十一月一日

小学校、中学校にも参加の呼びかけ

女性教育センターパートナーシップ事業

十一月二九日(木)

カラスの紹介、歴史部会、可部と京都など

# 今度は 美和町で活動を報告

山口県玖珂郡美和町で「カラスの活動」の報告をしました。9月27日(木)、美和町社会福祉協議会開催の「ボランティア入門講座」への出演なんです。

広いんです美和町は…。そしてその自然もすばらしい美和町にお邪魔したのは樋野村さん、田中さん、和田木さん、そして久しぶりに三木さんも一緒です。会場の老人福祉センターに集合した参加者は約30名、そのほとんどが女性で、パワーを感じたことでした。

和田木さんはカラスの生い立ちから現状までの概要を説明し、続いて樋野村さんは「記録として写真の持つ意義、それを補足するメモの大切さ」と、「今から実行すれば美和町の歴史が見えてくる」と訴えました。また三木さんと田中さんは歴史部会の活動を中心に話しましたが、参加者はカラスの活動を聞き漏らすまいと注目する人、話を聞いて大きく相槌を打つ人など、それぞれの受け止め方をされたようです。

質問の時間に集中したのは「会則なし、会費なしとは面白いが実際の運営は……」が気になったようです。また事務局からは「活動の立ち上がり、どんな事をしたのか」などなど関心の深さが感じられました。

ボランティアグループの平田さんは閉会に当たって「参考になる事項は沢山あった。どのように活動に結びつけるか、みんなで検討しよう」と挨拶、有意義な話し合いを終えました。



久しぶり三木さんもご挨拶

## 意外に多かったゴミ クリーン根の谷川の結果



集めたゴミを整理して終了

9月23日は公衛協と可部カラス共同作業で「クリーン根の谷川」を実施した日です。この日は3連休の中日とあって参加者は今までよりもちょいと少なめの100名余りでした。しかし少数精鋭の集まりなので、作業はてきぱきと進みほぼ1時間余りで片付けました。きれいに見えた川も、ゴミの量は意外に多かった感じがしています。

集めたゴミもちゃんと分別した後ジュースを飲んで散会となりました。参加した皆さんありがとう。また来年もやりましょう。

## 評判よかったカラスの活動

### ネットワークフォーラムIN広島で

10月4日「広島県立生涯学習センター」で開かれた「ネットワークフォーラム IN 広島」の分科会は私たちがびっくりするような情報で溢れました。

富山県山田村は小さな寒村ですがIT情報網は私たちの想像を遥かに超えた優れたものでした。

可部カラスのパネリスト(新澤さん)は地味ながら地元<sup>みのおし</sup>に根付いた活動を報告。大阪府箕面市では学校～市民のメールボランティアを開始して地域との連携を強めているとの報告がありました。

フォーラム後の交流会でも和歌山、名古屋、隠岐などの各地からカラスの活動は大きく評価されたようで、箕面市のパネリストは「カラスのようなグループが各地にできたらすごい事になるよ」という感想を述べられたとか……。カラスも箕面市のやり方を取り入れて学校との交流に利用すれば面白い感じがしますが……。このような交流を通じて各地の情報が集まれば、カラスの活動ももっと楽しいものになりそうですね。

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

10月 10日(水) 24日(水)

11月 14日(水) 28日(水)

#### カラスのイベント等

10月27日(土)

ボランティア国際年記念シンポジウム

国際会議場 寸劇と写真展示

11月3日(土)～4日(日)

可部公民館祭 福祉センター6階大会議室

「高松山」と活動報告の写真で話し合い

11月11日(日)

根の谷川水質調査と芋煮会

11月27日(火)

女性教育センターパートナーシップ事業

大手町 広島市女性教育センター

12月1日(土)

可部小学校6年生PTC歴史ウオークラリー

# 可部カラスの会

第46号 2001.11.15

## もっと交流しようや 可部中への出前授業

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3  
Tel(Fax)814-0162(寺本)  
teramoto@po.cisnet.or.jp (寺本)  
<http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/kabekarasu/>



10月16日(火)午後1時半からは可部中1年生の出前授業、といっても今回は生徒たちが希望する場所を訪ねて一問一答の形式です。カラスの場所は新澤さん宅、尋ねてくれた生徒は7名と先生、カラスからは新澤(慶)、田中、三木、和田木の4名が対応しました。

生徒たちが気になっているもの、それは「何でカラスなんじゃろう」でした。カラスの生い立ちとネーミングの由来を説明、その後いろいろと活動理念を交えて話しましたが、彼らは終始真剣な面持ちで聞いてくれました。

そして活動の記録や高松山、寺山の模型を見せると歓声をあげて喜んでくれました。最後に「これからいろんな問題で交流しよう」と約束をして別れました。

## 迫りに満ちたシンポ

## ボランティア国際年記念イベント

10月27日(土)広島国際会議場で“ボランティア国際年記念シンポジウム”が開かれました。朝6時可部を出発した第1陣は到着と同時に会場の設営です。今日の出し物は「カラスの寸劇」と「まちづくりシンポジウム」です。

カラスの展示コーナーに来られた副知事は「カラスの噂はよく聞いている…」と言いながら興味を持って覗いて行かれました。

午後のシンポジウム「まちづくりを考える」でカラスの生い立ちをテーマにした寸劇は好評でした。本番の3名のパネリストはいずれも迫力のあるメンバーで、久しぶりに聞く方も力が入りました。ちなみにパネリストはカラスの代表友広さん、広島県地域振興部の和田さん、三重県「赤目の里山を

育てる会」伊井野さんで、討論は白熱、相当突っ込んだ意見まで出て迫りに満ちた雰囲気でした。

参加したカラスのメンバーも「すごい内容だった。参加した意義があった。」とその感想を述べてくれました。

イベント終了後は交流会。ここで「カラスの寸劇」を再演しました。そして長い長い1日が終わりました。



## 定例会じゃあ こがいな話しをしたんよ

- 10月24日(水)
  - 可部中訪問授業(新澤組)
  - 7名はみんな集中して聞いてくれ、模型にはインパクトがあった模様
  - 可部南小30周年記念行事
  - 今回は見送りとした
  - 可部小ウオークラリー 12月1日(土)
  - カラスは 牛市跡、勝田寺、明神社の3箇所を絞る
- 歴史部会
- 一時休眠、百年前の地図は継続
- 11月14日(水)
  - 根の谷川水質調査の結果
  - 可部中心部の一部分にCODの劣化が伺える。再チェックと「水援隊」に全データの解析を依頼してみよう
  - カラスの忘年会
  - 12月26日(水) 18時30分
  - ひふみ会館 申込み12月15日まで
  - 事務局へ
  - 広島市パートナーシップ事業参加
  - 山口、田中、上森、友近、新澤、三木、和田木 参加
  - 先進地視察 愛媛県内子町
  - 14年2月23日~24日
  - 希望者15名限定
  - 可部小PTC可部探索
  - 12月1日(土)
  - 学校側は総合的学習の位置付けで取り組む考え

## 小・中学校の皆さまへ 水質調査へ参加ありがとう



頑張れ！芋煮の会場は近

11月11日、可部の空は澄み渡っています。小・中学校の子どもたちと一緒に、“根の谷川水質調査&芋煮会”の日です。

今回は「可部カラスの会」の呼びかけに応じて地域の小・中学校から参加があり、総勢24名の構成となりました。

午前9時、上流班、下流班は作業開始です。下流は発電所の放水で水量が多く、水生生物の採集は思うに任せませんでした。可部小の

子どもたちは自転車での参加で、移動に苦労したようです。でも水鳥たちの楽園や“カワセミ”の飛ぶ姿を見ることができて感激の様子でした。11時半、作業は終了。芋煮班が丹精こめて作った芋煮を全員で囲み、成果と反省を交えながら楽しい時間をすごしました。参加してくれた子どもたちも何かを感じてくれたことでしょうか。学校関係者の皆さん、ありがとう。来年もやろうネ。



反省（芋煮）会の開始

## 実り多かった 公民館まつり



30回目の「可部公民館まつり」は11月3日～4日公民館と福祉センターの大会議室を使って開催されました。「可部カラス」は昨年同様、大会議室です。今年は絵画の2グループと一緒にでしたが、これが大ヒットでした。落ち着いた雰囲気の中で、素晴らしい絵に囲まれ

て私たちの展示物も一層映えて見えます。さらに間仕切りがないので、お客さんの往来も自由です。

今回は高松山の模型が人気の的になり、常時説明員が必要なほどの忙しさでした。その上質問も多岐にわたり、新たに「カラスの会員」になった方もありました。そしてもう一つ、絵画グループで熊谷氏の歴史に詳しい方とも仲良くなり、いろいろな資料を見せてもらい、今後とも話しを聞かせてもらう約束もできるなど、実りの多いお祭でした。

## パートナーシップ事業で 可部と京都の歴史ロマンを

カラスの女性が主体になって活動報告をします。11月29日（木）の午後1時半から、場所は中区“女性教育センター”で、『可部と京都の歴史ロマン』と題して、カラスの活動を紹介するという仕組みなんです。その中で、活動にかかわった自分の思いをお伝えする事になるんです。もちろん男性も報告に花を添える意味で参加させてもらう予定です。

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

11月 14日（水） 27日（水）

12月 12日（水） 26日（水）

#### カラスのイベント等

11月29日（木）女性教育センター

「可部と京都の歴史ロマン」を発表

12月1日（土）可部のまちかど

可部小学校6年生PTCウオークラリー

12月26日 カラス懺悔の日（忘年会）???

ひふみ会館 午後6時半から

## 可部小のウオークラリーは

### こがあにやるんヨ

可部小PTCでは今年も可部ウオークラリーをやりまします。12月1日（土）9時から11時まで、6年生140名全員を対象に可部の町かどをあるき、先輩の話しを聞いてクイズの答えを書き込む方式です。これに父兄の多くも加わる事で、規模は更に大きくなりそうです。

説明ポイントは①牛市跡、②勝円寺、③明神公園の3箇所を6組に分かれて尋ねてくる児童に、カラスが説明をします。

事故防止を重点に旧道は避けたコースが設定されていますが、事故のないように気をつけてやりましよう。

# 可部カラスの会

第 47 号 2001.12.15

## さわやかに 熱っほく

## 可部を話しました

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3  
Tel(Fax)814-0162(寺本)  
teramoto@po.cisnet.or.jp (寺本)  
<http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/kabekarasu/>

市民グループが自主企画するプログラムを女性教育センターが協力して実施する『パートナーシップ事業』に可部カラスの会が参加して「可部と京都の歴史ロマン」のテーマで活動報告をしました。

冒頭から難しそうなテーマを紹介しましたが、「パートナーシップ事業」とは『男女共同参画社会の実現』を目指して地道な活動を支援する“広島市女性教育センター”と市民グループとが互いに協力しあって活動する事業のことです。

11月29日(木)、午前10時半に可部を出発したメンバーは上森、友近、田中、三木、山口、新澤、和田木の7名です。到着と同時に会場の設営やら食事やら忙しく動きまわって開会に漕ぎつけました。



笑い、頷き、メモを取る参加者

教育センター館長の挨拶に始まった講座、トップバッターは男性の新澤さん。カラスの生い立ちと活動状況を“現状を見据えながら、過去にさかのぼる“形で報告し、将来を予測しながら話をまとめました。

続いて友近さん。小学校5年生の宿題で『可部と京都の似ている点』をノートに書き写して50

年目でやっと解明できてその思いがかなったこと、書き取った文献を探しあぐねて途方に



可部と京都の類似点を熱く語る友近さん

くれ、あきらめかけたところで立ち寄った古本屋で文献と出会った喜びなど、彼女の熱い思いを受け止めた参加者の表情はすばらしく感じられました。最後に田中さんが話しを総括して講座を終りました。

質疑の中でも活動に対する賞賛の言葉を貰いました。終わりに参加者のアンケートから一部を紹介します。

- ・ いろいろと楽しく聞かせていただきました。春になったら高松山へ登ってみます。
- ・ 可部と京都の歴史ロマンをたのしみにしていました。活動にも興味を持っていたのであつという間の2時間でした。
- ・ …力まず楽しくこれまで積み重ねた実績をより膨らませて楽しくまちづくりを…。

### 定例会じゃあ こがあな話しをしたんよ

11月28日(水)

パートナーシップ事業 11月29日

参加者 上森、田中、友近、三木、山口、新澤、和田木

可部小ウオークラリー 12月1日

明神公園 加納、上森

勝円寺 田中、樋野村

ビッグ 新澤(慶)、和田木

写真・映像記録等 新澤、寺本

忘年会 12月26日(水)

ひふみ会館 18時半に現地集合

会費 三千元也

全国まちづくり事例発表

「安佐北区の事例発表にカラスを推薦したい」旨の連絡あり。

資料を区役所、まちづくり推進課へ。

12月12日(水)

先進地視察 愛媛県内子町

2月23～24日 参加予定数で締切り

夢街道ルネサンス主催マップコンテスト

「折り目正しき可部のまち」を出品

広島工業大学生のヒアリング

卒論の資料として「カラスの活動」に焦点を当てて質問

・ 活動の場所は ・ 会報の作成方法等は

・ 公民館の役割は ・ 活動の苦しさ、

楽しさは ・ 他のグループとの接点は E t c

カラスの忘年会

現在17名程度、奮って参加を

# 可部のこと いっぱい教えてもらおうよ

## 可部小ウオークラリーで

可部小PTCが取組んでいる今年の“歴史ウオークラリー”は12月1日(土)でした。午前9時校庭に集合した6年生140名に保護者を加えて220名が6コースに分かれて、ポイントを尋ねます。



みんな元気に しゅっぱ〜っ

ポイントは次のように設定しました。

①「明神公園」。ここでは、川舟の船着場や鉄燈籠の説明、②「勝円寺」。かつて繁盛した折り目と山繭の話、③「上市稲荷神社」ではビッグの位置が牛市として栄えたこと、酒ができたお知らせの杉玉、高松山の大きな文字を説明します。各ポイントにカラスのメンバー2名ずつが貼りついて説明を担当です。

ポイントに到着した児童は、“クイズのヒント”を聞き逃

すまいと、カラスの話をメモすることに余念がありません。保護者の中にも初めて聞く可部の歴史に、感慨深そうに頷く姿も散見されます。

また、牛市のポイントでは通りがかりの人が立ち止まって写真を撮りこみ、説明に聞き入る姿が見られました。

なお、このウオークラリーの様子を中国新聞とふれあいチャンネルが取材、報道してくれました。



明神公園の鉄燈籠の前で…

# 振りかえって 未来を見つめよう

## カラスのひとりごと

今年、活動の幕開けは“がんばれ可部線”が主催するカウントダウンのイベントでした。参加したのは友広さんと新澤さん、それ以後カラスがかかわってきた活動は大小あわせて40を超え、5年間の延べ件数は相当なものになるでしょう。そこでちょいとばかり反省をして見たんです。“Plan Do Drink”これがカラスの行動パターンで、Drinkもちろん大賛成です。ただちょいと“See”をプラスしてみんなで作ってみたいら……と思うんです。そして参加できない人たちと共通の認識をしたいと思うんです。

そのためにメンバーの“全員集合”をやってそれぞれの思いを聞いてみると面白いと思うんです。

それともう一つ、文書、画像、映像により「記録を残すこと」(できるだけ速やかに)が必要でしょう。現状では処理能力を超えた作業を余儀なくされているので、複数での作業にしてはどうでしょう。一緒に作業をすればノウハウを盗むこともできるでしょう。そして「出前授業」を通して参加してくれる子どもたちにも活動の成果を返してあげることが必要だと思います。(和田木のつぶやきでした)

## ええの？ 根の谷川水質

11月11日に実施した“根の谷川水質調査”の結果をめぐって気がかりな点があります。

中流(上原橋上側)あたりからCOD(化学的酸素要求量)の数値が高いんです。定例会で数値について疑問が提出され、再度調査する必要があるか否かを話し合いましたが、オーソリティの水援隊にデータを点検してもらおう事になりました。

言いにくいことかもしれませんが、調査の内容が間違ってくれた方がうれしいんですが……。

### カラスのスケジュール

カラスの定例会

12月26日 定例会は省略して直ちに忘年会  
6時半 ひふみ会館

1月9日(水) 16日(水)

カラスのイベント等

2月23日~24日 先進地の視察  
愛媛県内子町

# 可部カラスの会

第 48 号 2002.1.15.

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3  
Tel(Fax)814-0162(寺本)  
teramoto@po.cisnet.or.jp (寺本)  
<http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/kabekarasu/>

## 今年も忙しそうな気配 精一杯やりましょう

### 可部カラスの会 友広 大造

みなさん明けましておめでとうございます。昨年の暮れには、私たちにとって朗報がありました。総務大臣表彰の受賞決定の情報でした。これもカラスの活動を支えてくださる地元の皆さんのお陰です。受賞に浮かれることなく、地に付いた活動を続けたいと思います。

また去年は、広島市から“まちづくりデザイン賞”を貰いました。活動では小・中学校の出前授業が増え、根の谷川の清掃や水質調査など環境浄化作戦が定着し、大文字祭などのイベントも皆さんの共感を得るようになりましたが、まだ残された問題もあります。

今年は「総合的な学習」が本格的になることから、出前授業の要望が増えることが考えられます。どこかでカラスを見守ってくれる人も増えることと思われまふ。皆さんの要望に応える力をつけて一歩一歩、足元を踏みしめながらこの1年を地域の皆さんと共に楽しく活動しましょう。

## 総務大臣賞です 皆さんありがとう

ビックリしてクラクラッと来たようです。まさかまさかの総務大臣賞の受賞だから…。代表の頭の中を推察するとそう



垂幕とクラッカーで乾杯した忘年会

だったでしょう。メールの切り口はこうです。

“…試験の最中に総務庁から表彰したるけえ来年の1月16日に……しかしいっばい申請しとるけえ、どの分が入賞したのか、私にはわからず…”。

地元の皆さんに後押しされて活動しながら、ここまで育ったカラスですから“カミシモ”は似合わないと思いますが、素直な気持ちで表彰を受けて、皆さんと共に慶びたいと考えます。みなさんありがとう。カラスは頭が高くなならないよう今後も皆さんと一緒に頑張ります。

## 定例会じゃあ こがいな話しをしたんよ

12月26日

定例会 カラスの忘年会に切り替え

特記事項 総務大臣賞の受賞が決定したこと  
もあってみんなうれしかった

広島県地域振興部の和田さん、中国新聞安佐北支局長山中山さんも参加

美酒を飲んで面白かった。

1月9日

総務大臣表彰への参加者

友広代表、新澤、和田木

帰ってから挨拶を忘れずに…

亀山小 “出前授業” 3年生対象

昔の暮らしぶり”角先生と打ち合わせの事

上森、和田木、新澤、山口、木原、樋野村  
可部線プロジェクト 総合福祉センター6階

交流会で“大田川流域のまちづくり”を  
議事の進め方について事務局同士で詰めを  
してもらう

新澤、和田木、寺本、山口、田中

草津のまちづくり講座

草津公民館で寸劇と討論会

友広、神本、木原、樋野村、和田木、加納、

新澤、上森、田中参加予定

マップ公開コンテスト

田中夫妻が出席

先進地学習 2月23日～24日

岩田さんにもスケジュール表を送付のこと

カラスの仕業Vol.4 執筆担当者を決定

43のイベントの記事を3月末までに提出

# カラスが空から写したような

## 可部の写真が新聞に載ったよ

新澤さんから召集がかかったのは昨年11月15日の夜でした。「中国新聞写真グループ」が可部の風景を写真で連載する企画を立てた。ついては可部に詳しい「可部カラスの会」に状況を詳しく教えてほしいということでした。午後7時頃新沢宅へ、集まってきたメンバーは新澤夫妻をはじめ樋野村、和田木、田中の5名でした。

大文字祭で話題になった“可部と京都の類似点”から舟溜まり、チンチロビッツ、牛市などなど話はずみませんでした。そして1月9日の新聞にタイトルのおり、「空から眺めた可部の写真」が掲載されたんです。

この企画しばらく可部のポイントが紹介される予定です。月曜日の新聞にご注意あれ。

## 美酒と美女に酔うて… 最高の気分で忘年会

本邦初公開です「可部カラスの会」の忘年会。ボランティア国際年のシンポで意気投合の県庁和田さんや中国新聞安佐北支局長の山中さんも参加しての忘年会、総務大臣表彰も決まって、最高の気分になったところを披露します。



広島県のお客様もこのとおりメロメロ…

## トップはチンチロビッツ 年間活動のベスト10

平成12年に実施した活動のベスト10を先日の忘年会参加者で選んでみました。

- 1位 チンチロビッツ (異色のレインボーキッズ)
- 2位 まちづくりデザイン賞獲得  
大文字祭の「高松山シンポジウム」  
総務大臣賞受賞決定
- 5位 国際年記念シンポジウム  
根の谷川水質調査&芋煮会 (小・中学生が参加)
- 7位 可部小学校6年生 可部のまち探検  
可部小学校3年生 昔の生活(七輪の火起こし)  
先進地視察 「岡山県新庄村と鳥取県日野町」  
可部の町並み再現の聞き取り調査

## カラスのスケジュール

### カラスの定例会

1月 23日 (水)

2月 13日 (水) 27日 (水)

### カラスのイベント等

1月19日 (土) 出前授業 亀山小学校 (3年生)  
昔の暮らしぶり

1月25日 (金) 可部線プロジェクト  
安佐北総合福祉センター大会議室

1月26日 (金) マップ公開コンテスト  
広島国際大学 国際教育センター

2月 2日 (土) 草津まちづくり講座  
カラスの寸劇と討論会

2月23日 (土) ~24日 (日)  
先進地視察 愛媛県内子町

## 寸劇と対話と 草津公民館の出前講座

草津公民館“草津のまちを愛する会”の講座にカラスが出演することになりました。

平成14年2月2日(土)13時から草津公民館で開かれる講座は、

寸劇によるカラスの活動紹介  
最近の活動をビデオで紹介  
活動を進めるに当たって大事に(暗黙の了解事項)したいことのアドバイス  
その他となっています。

草津の皆さんと楽しく、賑やかに語り合ってみたくて張りきってやります。



# 可部カラスの会

第 49 号 2002.2.15

## ささやかな活動に 過分な榮譽

### 可部カラスに 総務大臣賞

こんなものいただいてええんでしょか。地域の皆さんに後押しされながら5年目、ようやく一人前の活動が出来ようになった私たち「可部カラスの会」が総務大臣表彰の栄に浴すなんて……。

『住民の積極的な参加を得ながら地域の特性を生かしたまちづくりについて先進的な取組みを……』これが住民参加のまちづくりグループ表彰の趣旨に沿って全国で10チームの中に入ったんです。

朗報を知った皆さんから次のようなコメントをいただきました。

「カラスが掘り起こしてくれたお陰で、忘れとった青い目の人形を思い出して…、カラスから元気を貰うとるんよ。わたしゃあうれしいよ。」青い目の人形を踊った桐原豊子さん 「新聞で読んだんよ。よかったねえ皆さんよう頑張ってるじゃけえ。」川本さん 「表彰式もう行って来たんか？あんたらあまだ頑張らんやあいけんで。」深川さん 「立派なもんじゃ。よう頑張ってるじゃが、資金がよう続くもんじゃねえ」社協の増井さん。皆さんありがとうございました。これからも皆さんから力を貰ってがんばります。

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3  
Tel(Fax)814-0162(寺本)  
teramoto@po.cisnet.or.jp (寺本)  
<http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/kabekarasu/>



2列目中央でかしまったカラスの代表

## おのぼりさんもくたびれたねえ

1月16日表彰式には友広代表、新澤、和田木の3名が臨みましたが、“おのぼりさん”は大変でした。「どこで乗り換えりゃあええかの？」「なあに地下鉄で行こうやあ」さてさてどっちから来る電車に乗るんやら…。あっちこっちで尋ねながら何とか会場へたどり着きました。

午後2時からの表彰式はいともおごそかに行われ、さすがの代表も厳粛な面持ちでした。そして懇親会の会場で“にんまり！”各チームの資料が並んでいますが、カラスの資料は(活動もちろん)ユニークで、すべて手作りはカラスだけ。参加者から“どうすればそんな力が出るの”という質問責めにあいました。

懇親会を終えて帰りがまた大変。指定列車にぎりぎり間に合ったところが、ほぼ満席で座席もバラバラ。とうとうビールはおろか弁当も口にすることなく可部に着いたのは午後10時を廻っていました。

### 定例会じゃあ こがあな話しをしたんよ

1月23日(水)

がんばれ可部線の応援1月25日(金)

寺本 カラスの紹介等で30分を担当し  
そのほか田中、和田木、山口が出演

流れは司会の塚田さんにおまかせ

公開マップコンテスト1月26日(土)

田中夫妻、和田木 参加

三入小総合学習発表会 1月30日(木)

参加予定 和田木 他

水援隊発表会 3月10日(日)

水援隊、草津まちづくり大学、可部カラスの会が発表

豊一枚大の看板を作成してくれる

草津公民館「出前講座」2月2日(土)

参加者 代表以下11名予定、「寸劇まちづくり」を披露

シナリオ

友広 スライド 新澤

2月13日(水)

八幡公民館から長嶺さん来館

2月25日実施の講座の進め方など検討

内子町視察 事前に資料送付

地図と大臣表彰時の「仕業」送付のこと

温品公民館「出前講座」3月4日(月)

参加者約60名寿大学と老人会を予定

自主活動の進め方などを中心に話し合い

当面するスケジュール

予定どおり実施

今後の「出前授業」の扱い

事前に定例会を覗いてもらうこととした

可部線応援文化祭@加計

地元の企画だったが、素晴らしかった

# 交流と講演と がんばれ かべせん 可部線難関突破の集会で

平成14年1月25日、安佐北総合福祉センターで可部線存続応援の「難関突破講演会」が開かれました。カラスも応援の出演です。会場は満員の盛況で、「ひろしま生涯学習センター」の生住さんが「地域で生きる」と題して講演。「運動は他人任せじゃない。わしゃあ電車は都合が悪いけえ…」じゃあダメ。と厳しい注文をつけました。続いては可部カラス、寺本さんが「カラスの生い立ちと理念」を説明、後はメンバーの自己紹介と「自分のかかわり方」を披露しました。続いて司会からの提案で、駅ごとの活動するグループが発表して交流が繰り返されました。

## すっごく盛り上がった かべせん応援文化祭@加計



リズムにあわせて懸命、加計のメンバー

翌日加計で開かれた《かべせん応援文化祭@加計》は華やかでした。出場の団体も盛りだくさん、写真あり、ビデオあり、そのうえ講演があってステージショーまで披露されるバラエティに富んだ企画でした。その中で講演を担当したのがカラスの新澤さん。加計中学校在任中の記録VTRや昭和初期に藤井さんが映写した三段映の映像を交えての話でした。

更にアトラクションが素晴らしかったんです。加計出身の山内さんのフラメンコに加えて友情出演のミュージサーカス若尾さんの「何でも音楽にする」演奏に、参加者全員が乗りに乗って大盛況でした。地元の人たちが初めて取組んだ企画はみんなの力で大きな盛り上がりを見ることができました。

## 交流終わってもまた交流 草津の皆さんと

2月2日(土) 総勢10名の可部カラスが草津公民館へ飛んで行って、可部カラスの会結成当初の状況やその後の活動状況について情報と経験を提供しました。

### カラスのスケジュール

#### カラスの定例会

2月 27日(水)

3月 13日(水) 27日(水)

#### カラスのイベント等

2月20日(水) 可部小3年生 出前授業  
「かわってきた人々の暮らし」  
8:45~15:35 3回に分けて授業

2月23日(土) ~24日(日)  
先進地視察 愛媛県内子町

2月25日(月) 八幡公民館 13:30~15:30  
「まちが好き、人が好き」

3月 4日(月) 温品公民館 9:30~11:30  
寿大学 出前講座  
高齢者の力を地域へ

3月 7日(水) 可部公民館 出前講座  
ちょっとしたボランティア

3月10日(日) 水援隊発表会



カラスの説明に耳を傾ける草津のみなさん

草津まちづくり学校は今回が最終回の総括学習会ということで、今後は可部カラスのように自立し

て自主的に活動を始めようとしています。このため、カラスの会結成当初のことに質疑が集中しました。結成当初のいきさつは寸劇で発表、その後の活動状況はビデオで紹介しました。町並みや景観の保存を意図した民家の改修や修復の試みについても写真パネルで説明しました。

研修会終了後、折角の機会だからと、草津のかまぼこ、牡蠣めし、地元小泉酒造の銘酒『御幸』による心のこもった交歓会の席が設けられ、互いに意気投合して今後も古い町並みがある可部と草津は手を取りあって頑張ることを約束して散会しました。

# 可部カラスの会

第50号 2002.3.15

事務局 安佐北区亀山南 2-1-3

Tel(Fax)814-0162(寺本)

teramoto@po.cisnet.or.jp (寺本)

http://ha8.seikyuu.ne.jp/home/kabekarasu/

## 本物の人と宿と 内子の石畳で満喫

見てきました「静かな町の佇まい」会って来ました「立派な人とやさしいおばちゃんたち」。2月23日朝8時、可部を出発したメンバー15名の目指すところは「しまなみ街道」経由、愛媛県内子町。今回の目的は「きちんと整備、保存されている町並」と「まちづくりの体験談を聞くこと」そして「石畳の宿」で自然を満喫するという欲張った内容です。もちろん内子町の産業「和蠟燭」の指導に可部の職人がかかわっていることを実感する旅でもあります。

到着後訪れたのが道の駅「カラリ」。地産の野菜が飛ぶように売れて行きますが、ここは翌日のお楽しみに残して昼食。そして「まち案内ボランティア」に導かれて内子の町を散策です。



内子の町並み散策

カラスのジャンパーが気になった店の人に「可部と内子のかかわり」を説明すると大きく頷いて「行ってらっしゃ〜い」。空にそびえる「鬼瓦」や「うだつ」「虫窓」それにも増して威風堂々の建物、その中の「上芳我邸」に「可部から職人3名が来て、蠟燭づくりにかかわった」とありました。

そして一晩の宿「石畳の宿」へ到着。直ちに「ま

ちづくりの体験」を岡田さんに伺います。話しを聞き漏らすまいとカラスも必死です。「町並み保



体験談をメモにとるカラス

存に情熱を注ぐこと、村づくりは人づくり」を実践された岡田さんの話は尽きませんが、こゝで「石畳の宿」の方も披露しましょう。水車のある村、内子町石畳、ここに《田舎》を満喫できる宿があります。自然のものに気持ちを込めて、おいしく食べさせてくれる「おばちゃん」達がいます。囲炉裏にはアマゴ、山菜と野草のてんぷら(藪つばき、スイバ、ひよこぐさ、フキの等、ゆきのしたなど)

煮物(たけのこ、こんにゃくサトイモなど)全員思わず「うまあい」。

食後はおばちゃんたちとの懇談です。「石畳の宿」開始の不安は自信に早替わり、皆さんとの話し合いが一番楽しいというおばちゃんとの話しは11時を回って気がついておしまい。1泊2日の欲張った旅は素晴らしい思い出を抱きながら終了となりました。

### 定例会じゃあ ことがあな話をしたんよ

2月27日(水)

広島工業大卒業研究 4年生安部誠

テーマ「市民主体のまちづくり拠点施設に関する研究」のまとめを発表

カ 可部のまちからあなたのまちへ

ベ 便所へ行ってるひまもなし

カ カラスはいつもとんできます

ラ 楽天カラスのみんなの笑顔は

ス 澄みきった空にぴったりだ

大文字祭の日のイベント対策

可部の町の通りにネーミングを

今後のスケジュール

3月3日 加計川北協議会との交流

4日 温品公民館 出前講座

7日 可部公民館 ちよボラ講座

9日 山口県玖珂社協との交流

10日 水援隊PRイベント

23日 可部南女性会で講演

3月13日(水)

活動の報告

八幡公民館 活動の目標選択に苦慮

温品公民館 金なしの活動は不思議?

加計川北 刺激を感じてもらった

予定 可部南女性会 加納、梶川、新澤夫妻

大文字祭 次回でとことん論議

役員の変動

事務局 新澤 次長 神本、田中

庶務 神本 会計 和田木

HP 田中、新澤、山口

会報 和田木、木原 21日引き継ぎ

# てんてこ舞い でも達成感 頑張ったカラス

会費なしで、よう頑張るのお

## 温品公民館 寿大学

3月4日(月)、今度は東区温品公民館《寿大学》の皆さんとの勉強会です。ビデオを使った活動紹介に身を乗り出す人もあるほどの人気でした。「すごい活動に資金は？」の意見に「カラスには会則も会費もありません…」と大笑い。また「今またバイパスの工事が進んだら、可部はどうなりますか?」「それは私らにもわかりませ〜ん」色んな対話で大笑い、楽しい寿大学でした。



ちょぼらでもオオぼらでもOK

## 可部公民館

3月7日は「ちょボラ」の日、「可部公民館「ちょっとしたボランティアのススメ」」にグループでボランティアを進める2組が出演です。カラスは「行政では公平の原則」でできないことをやるのがちょボラ…」の切り口で活動を逐次紹介。巣立ちと同時に地元の皆さの応援で大きくなったカラスは、皆さんの応援を忘れず、頑張る約束をしてお開きとなり、参加した皆さんの拍手をもらいました。

# 今年も火を起こしたよ 可部小 3年生

2月20日(水)は可部小3年生出前授業(変わった、むかしの暮らし)の日、午前8時に集合したカラス

### カラスのスケジュール

カラスの定例会

3月 27日(水)

4月 10日(水) 24日(水)

カラスのイベント等

3月21日(木・祝) 13:30~  
事務引継ぎ 田中邸

3月23日(土) 10:00~11:00  
可部南女性会総会

可部南福祉センター

の会員6名は作業として火鉢に火を入れることから始まりです。「おはようございま〜す」の声はカキモチへの期待もあってか元気一杯。まず火を扱う注意と七輪で火を起こす順序を説明のあと開放廊下で作業開始です。

上手に火を起こしたグループあり、それなりのところも…さてカキモチ焼きはみんな食べられるように焼いて終了。3クラスの授業を終えて帰途についたときは午後4時前でした。



## 可部で刺激を受けました

### 加計町川北協議会

加計町の川北協議会一行の13名が可部カラスの会との交流研修のため、3月3日(日)にわざわざ可部まで来られました。川北地域の約250世帯の活性化を図るため現在いろいろ計画検討されていますが、可部で刺激も受け、大変参考になったと礼状が届きました。



## 青い目の人形や原爆投下

### 亀山小3年生

2月20日(水)亀山小学校体育館で「むかしの暮らし発表会」が開かれました。各チームが一斉に店を出し、店主がローテーションで説明、お客は自分の好みの店を覗くという趣向で、ちょっと新鮮さを感じました。

研究内容も工夫しており、インターネットを利用した「青い目の人形」や「原爆」と向きあった児童もいて感動を覚えた発表会でした。